

# 都市生活者の農山漁村との交流に関する インターネット・ニーズ調査 ～ 農山漁村への旅行・農村生活体験 編 ～

平成 16 年 3 月

財団法人 都市農山漁村交流活性化機構

## はじめに

グリーン・ツーリズムは、農林漁業を活用した都市との交流事業として、農山漁村においては、非常に注目されています。

また、都市生活者にとっても、自然や地域文化に関する体験へのニーズが年々高まり、両者を結びつける一つの手法として、グリーン・ツーリズムへ熱い期待が寄せられています。

わが国のグリーン・ツーリズムは、長期休暇制度が定着していないために、農村での長期滞在を中心とした欧米型のグリーン・ツーリズムとは異なり、自然探勝や美しい農村の風景を楽しむばかりでなく、各種の農林漁業体験や農村生活体験など広範な農山漁村での体験や休養を含んでいます。

都市生活者のニーズは多様であり、グリーン・ツーリズムといってもどのような体験内容に関心が高いのかを把握する必要があります。

そこで、当機構は、都市生活者のニーズに即したグリーン・ツーリズムの推進を検討するために、都市生活者の農山漁村への旅行・農村生活体験へのニーズ把握を目的として、インターネット利用者を対象にアンケート調査を実施しました。

都市農村交流事業、グリーン・ツーリズムを推進する関係の皆様にご覧いただき、今後の取り組みに活用いただければ幸いです。

最後に本書の発行にあたり貴重なご意見をいただきました都市・農山漁村交流促進検討委員会の皆様、並びにアンケート調査にご協力いただきました関係者各位に厚く御礼申し上げます。

## 第 章「調査の概要」

### 1. 調査の目的

都市と農山漁村の交流を進めることによって地域活性化を目指すためには、交流の対象となる都市生活者が何を望んでいるかのニーズを把握し、それに対応した取組みをすることが大切です。

そこで、都市生活者から都市と農山漁村の交流に関するニーズを収集するために、テーマを定めてアンケート調査を実施して、その結果から農山漁村地域の活性化に参考となるヒントを探ります。

平成 15 年度のテーマは、グリーン・ツーリズムにおける「農山漁村への旅行」と「農村生活体験」のニーズを把握することとして、インターネットを活用したアンケート調査を実施しました。

調査結果は、都市交流の推進に取り組む関係者のみならず、多くの人々にグリーン・ツーリズムを紹介するために、グリーン・ツーリズムポータルサイト (<http://www.furusato.or.jp/>) において公開します。

### 2. 調査のねらいと方法

#### 調査のねらい

都市生活者の農山漁村への旅行や自然体験・農林漁業体験については、各種調査の結果、年々ニーズが高まっているように思える。しかし具体的にどのような農林漁業体験について関心が高いのかを明らかにするために、農山漁村との交流やグリーン・ツーリズムに関心が比較的高いと思われる都市生活者層を対象に調査を実施する。

#### 調査方法

ふるさとプラザ発行メールマガジン「ふるさと情報耳寄り情報」の読者及び幅広い年齢層が利用するようになってきたインターネット利用者(目標サンプル数 1000 件)に対して、アンケート調査を実施することとし、(財)都市農山漁村交流活性化機構のホームページ上にアンケート内容を掲示し、調査を実施した。

その結果、155 件の回答を得た。

### 3. 調査の内容

「農山漁村への旅行、農村生活体験に関するアンケート」

「グリーン・ツーリズム」という言葉を知っていますか、また、体験したことはありますか

「グリーン・ツーリズム」を知っている（体験）したことがある方に伺います。

あなたが思うグリーン・ツーリズムのイメージは次のどれですか（いくつでも選んでください）

にあるようなグリーン・ツーリズムの体験をしてみたいと思いますか

グリーン・ツーリズムで良く行く地域、または記憶に残る地域はありましたか

(県名市町村名、地域名、体験内容、理由等を記入ください)

農山漁村へ行ったときに、主にどのようなことをしたいですか

行ってみたい、あるいは興味のある農山漁村はありますか

いずれは農山漁村（田舎）で暮らしてみたいと思いますか

農山漁村での休日の過ごし方について、

その他お気付きの点がございましたらご自由にお書きください

## 第 章 「調査結果の概要」

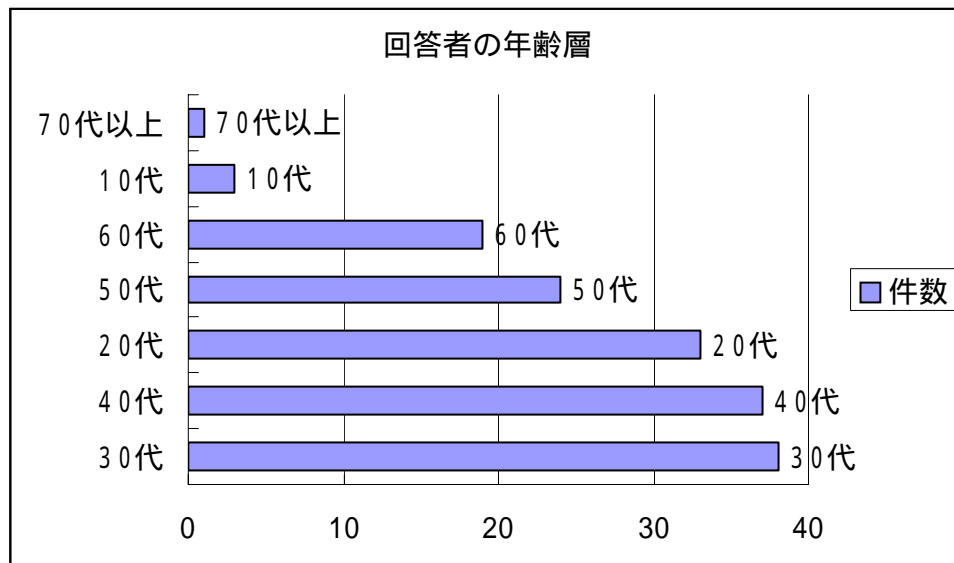
### 1. 回答者の属性

本アンケートの回答者の属性は、性別と年齢層の 2 つを収集した。

#### (1) 年齢層別内訳

年齢層構成については 30 代が最も多く、20～60 代に幅広くサンプリングできた。

平成 14 年度インターネット・ニーズ調査（テーマ：「農産物直売所について」）では、40 代が最も多く、年代ごとのバラつきが減り、年齢層も若干、若くなった。



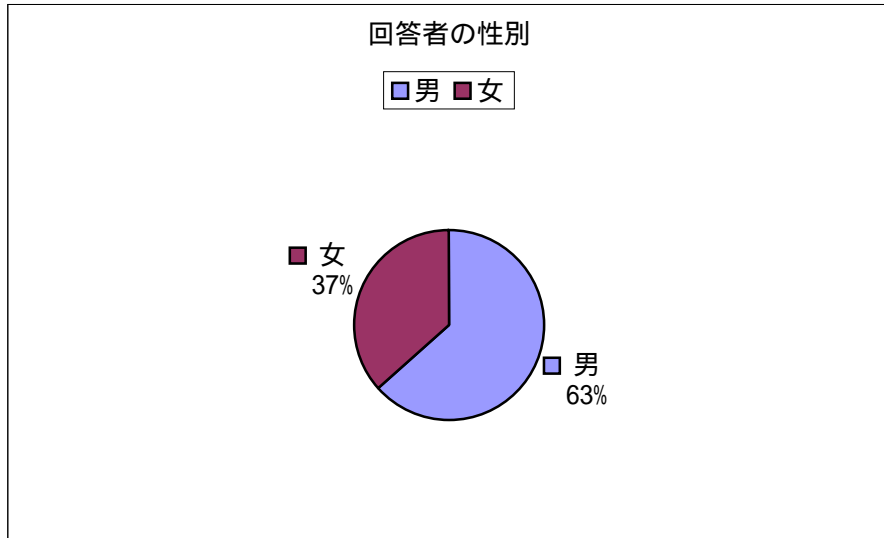
#### 年齢の内訳

| 順位 | 回答項目  | 件数 | %     |
|----|-------|----|-------|
| 1  | 30代   | 38 | 24.5% |
| 2  | 40代   | 37 | 23.9% |
| 3  | 20代   | 33 | 21.3% |
| 4  | 50代   | 24 | 15.5% |
| 5  | 60代   | 19 | 12.3% |
| 6  | 10代   | 3  | 1.9%  |
| 7  | 70代以上 | 1  | 0.6%  |

## (2) 性別内訳

回答者の性別構成は、男性：女性が63：37男性の回答者が女性の倍近くを占めている。

平成 14 年度インターネット・ニーズ調査（テーマ：「農産物直売所について」）時の63：37と同様だった。



性別の内訳

| 順位 | 回答項目 | 件数 | %     |
|----|------|----|-------|
| 1  | 男    | 98 | 63.2% |
| 2  | 女    | 57 | 36.8% |

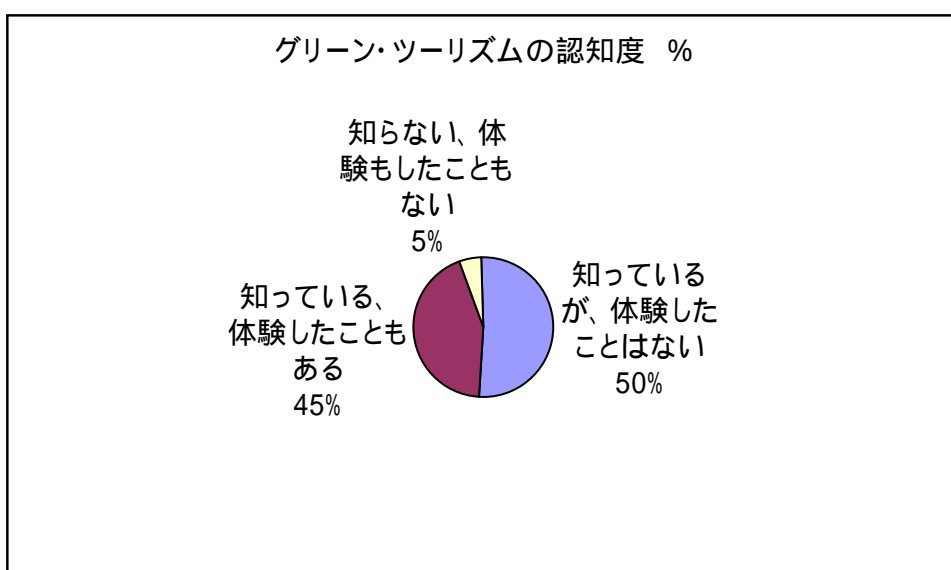
## 2. 調査結果の詳細

### (1) グリーン・ツーリズムという言葉を知っているか、または体験したことはあるか

グリーン・ツーリズムの認知度について訊ねたところ、「知っている、体験したことがない」が50.3%、「知っている、体験したこともある」が44.5%を占め、「グリーン・ツーリズムを知っている」は、全体の95%に達し、「知らない、体験したこともない」は5.2%と高いグリーン・ツーリズムの認知度となった。

平成 12 年度のインターネット・ニーズ調査結果（テーマ：「ふるさと体験ツアーについて」）では、グリーン・ツーリズムを知っているの回答者は約50%であったが、「グリーン・ツーリズムの意味を知っている、行ったことがある」が僅か3%であった。

今回の調査で「知っている、体験したことがある」が45%に達したことから、予想どおり、グリーン・ツーリズムについて、先進的な興味をもっている層が回答していると見られる。



GT 認知度

| 順位 | 回答項目             | 件数 | %     |
|----|------------------|----|-------|
| 1  | 知っているが、体験したことはない | 78 | 50.3% |
| 2  | 知っている、体験したこともある  | 69 | 44.5% |
| 3  | 知らない、体験したこともない   | 8  | 5.2%  |

(2) あなたが思うグリーン・ツーリズムのイメージはどれか(複数回答)

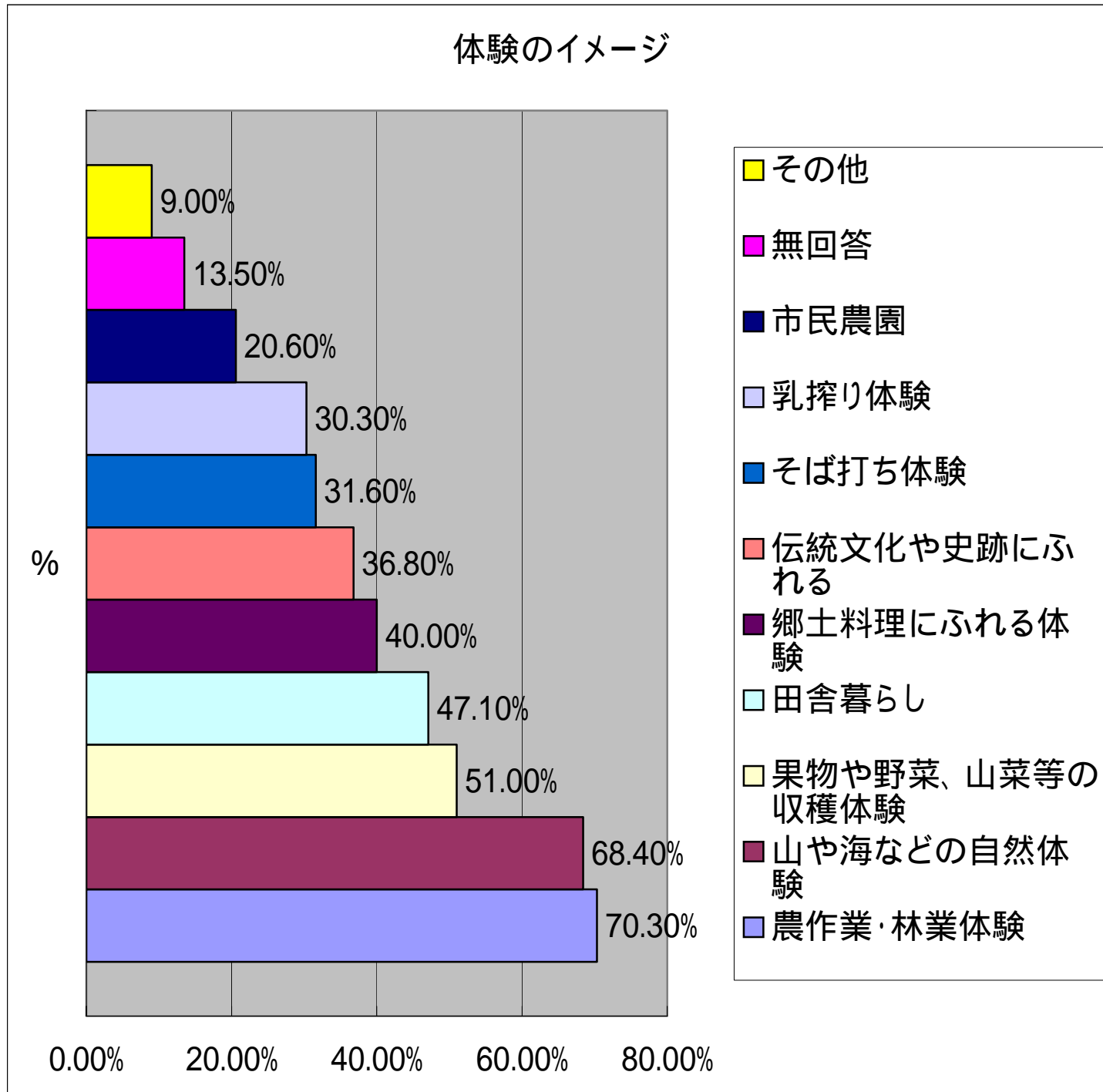
(「グリーン・ツーリズム」を知っている(体験)したことがある方)

回答者それぞれが思うグリーン・ツーリズムのイメージを尋ねたところ、「農作業・林業体験」「山や海などの自然体験」が約70%を占め、続いて「果物や野菜、山菜等の収穫体験」が半数となった。

農林漁業体験と野山を散策する自然体験は、グリーン・ツーリズムの両輪であるといえそうである。

また、テレビ番組等の影響なのか、「田舎暮らし」はグリーン・ツーリズムだと47%がイメージしている。

グリーン・ツーリズムは幅広く農山漁村での余暇の過ごし方であると認識されていると考えてよさそうだ。



体験イメージの回答

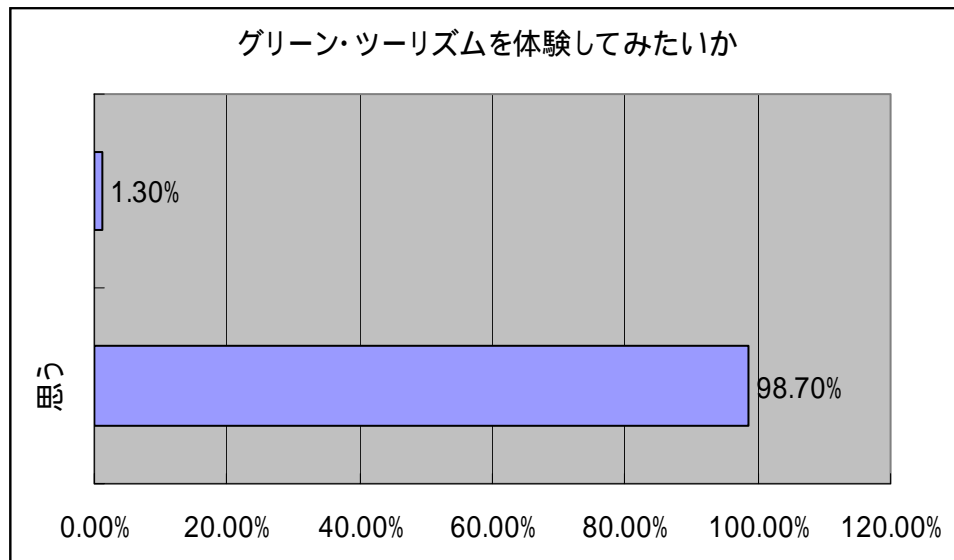
| 順位 | 回答項目           | 件数  | %     |
|----|----------------|-----|-------|
| 1  | 農作業・林業体験       | 109 | 70.3% |
| 2  | 山や海などの自然体験     | 106 | 68.4% |
| 3  | 果物や野菜、山菜等の収穫体験 | 79  | 51.0% |
| 4  | 田舎暮らし          | 73  | 47.1% |
| 5  | 郷土料理にふれる体験     | 62  | 40.0% |
| 6  | 伝統文化や史跡にふれる    | 57  | 36.8% |
| 7  | そば打ち体験         | 49  | 31.6% |
| 8  | 乳搾り体験          | 47  | 30.3% |
| 9  | 市民農園           | 32  | 20.6% |
| 10 | 無回答            | 21  | 13.5% |
| 11 | その他            | 14  | 9.0%  |

## その他の回答内容

ふるさとアンテナショップめぐり  
 地元の人との交流、そして、何かお手伝いできること。そして、何もせずぼ～～とのんびりすること。  
 地元の人々とのふれあい  
 郷土の文化財や自然・産業などにふれる体験  
 ボランティアによる森林保護、海外清掃など自然を守る活動もしくはレクレーション。  
 地元の方との交流、第 2 のふるさとづくり等  
 地元住民との交流  
 海や山などに精通している人（生活している人）とかかわり、そこから本当に大切なことを学んだり気づいたりすること。  
 本来、自然のあるべき姿を理解すること。例えばトマトは夏の食べ物であり、なぜ冬に食べることが出来ているかを疑問に感じる事が出来ること。  
 各種職業体験  
 体験だけではなく、いつまでも後世に自然を残す為の取組み現地の方とのふれあい  
 基本的に交流だと思えます。体験も大切だと思えますがやはり“人”だと思えます。  
 農山村漁村での長期滞在型農業等体験  
 目的を持っている人が、自身のやりたい事を、全て自己責任において、何らの制約や条件を受けずに行動をすること。お金を払うからといって、設備に期待するのではなく、お金を得ることを目的に不要且つ過剰な押し付けをするものではない。本来、自然は全ての人のものであり、金銭の対価にするものではない。参加者の圧倒的な、思考不足、責任欠如、他人任せ・・・は、糾弾するにも値しないがそこに付け込んだあこぎなさに、いやらしさを感じる。主催者の側に立つ人々は、自分達が何をしたいのか本質的に考え直すべきだと思う。金銭を支払って、参加する馬鹿共と、その金銭を主たる目的とする主催者並びにそのあこぎな協力者には自分で考えて行動する、という基本に立ち返るための猛省を強く依頼する。  
 ヨーロッパアルプスの山間部で都市住民がしっかりと自然保全の意識を持って自然を満喫しているような行為  
 農家における、副業的におこなう民宿業や観光農園による交流事業。農村の活性化事業。  
 ツーリズム先の生活者との真の交流。形骸的な付き合いではなく、その環境や生活文化を深く理解していくことにより、住む人々に対する愛情も醸成され、まさに第二の故郷的な交流に発展すること（私の理想でもあります）  
 援農、産直  
 グリーン・ツーリズムとエコツーリズムと農村観光との明確な違いがわからないから選べない。

### （４） グリーン・ツーリズムを体験してみたいですか

グリーン・ツーリズムの体験の意向は、ほぼ 100%であった。  
 体験したいとは思わないは、回答者 0 であった。  
 回答者の約 45%がグリーン・ツーリズムを体験したことがあるなかでも、極めて高い体験の意向があることがわかった。  
 グリーン・ツーリズムが何かを知っているということが実際の体験意向に極めて重要であることが判明した。  
 今後、さまざまな方法で多用なグリーン・ツーリズムの具体的な楽しみ方を紹介することによって、グリーン・ツーリズム体験者が急増する可能性があるといえる。



| 順位 | 回答項目      | 件数  | %     |
|----|-----------|-----|-------|
| 1  | 思う        | 153 | 98.7% |
| 2  | どちらともいえない | 2   | 1.3%  |

( 5 ) グリーン・ツーリズムで良く行く地域、または記憶に残る地域はあるか

(県名市町村名、地域名、体験内容、理由等を記入)

良く行く地域、これまで出かけた地域の中で記憶に残るような地域について、回答者から 3 4 県 8 3 箇所が記された。グリーン・ツーリズム先進地として、有名な岩手県遠野市、大分県安心院町は各数名から取り上げられている。

その他の地域についても体験した生活文化への強い印象や地域の人々との交流の思い出など、観光とは一線を画したグリーン・ツーリズムの良さ・体験への満足感が伺われる。

| 都道府県 | 具体的な地域名ほか   |
|------|---|
| 北海道  | 北海道幌加内町 北海道釧路市 紋別市 北海道ニセコ・十勝 蘭越町：何も無いところだったが人があたたかくていい思い出となった。 鹿追町(ファームステイ)   |
| 青森県  | 名川町：さくらんぼ獲り。住んでいる近くにさくらんぼが無いから。 横浜町   |
| 岩手県  | 遠野市 遠野市：搾乳体験・炭焼き体験、山の暮らしを知る。  |
| 宮城県  |   |
| 秋田県  | 長野県秋田県あきた白神   |
| 山形県  | 飯豊町・・・ヤハハエロツアーが忘れられない。 山形県のやまがた休暇(JRのびゅう企画商品だった)でいった飯豊町：等身大の雪だるまつくり、雪のお城で晚餐会、スノーシューやスノーモビルの体験、花笠作成体験 最上郡金山町の「四季の学校」に参加。農・林業体験を複数回数に渡って経験することにより、地域の人たちと深く交流することができた。様々な「生活の知恵」を教わるうちに友情も育まれ、今ではほぼ毎月のように訪れている。また帯同した友人が金山町を気に入り、お嫁に行った事は嬉しい誤算！ |
| 山形県  | 新庄市：田んぼの草取り。 西川町：トレッキング ガイド付きの山歩きとガイドの山小屋でのテータム   |
| 福島県  | 福島県山都町 泉崎村：地域住民との交流会 福島県金成町   |
| 茨城県  | 常陸太田市のアイガモ水田トラストの田んぼ  |
| 栃木県  |   |
| 群馬県  | 新治村：たくみの里(木織、その他) 片品村でかまくらとかんじきを使って雪あそびをしたのがたのしい思い出になっています。 水上町：鮎のつかみ取り、バーベキューなど  |
| 埼玉県  | グリーン・ツーリズムで行ったのではありませんが、荒川村などはそば打ち体験ができ、そばの花が見られたり、自然が豊かでいいところだと思います。   |
| 千葉県  |   |
| 東京都  | 檜原村：森林、下草刈り、楽しさと辛さが入り混じり、充実感を感じた。 区民農園(葛飾区)区民農園を借りて6年目、野菜づくりを体験している。  |
| 神奈川県 |   |
| 山梨県  | 毎年山菜狩り・きのこ狩りのイベントを企画している所へ参加します。地域は山梨・富士吉田周辺などです。 白州町：山菜狩り山梨県 三富村：炭焼き   |
| 長野県  | 阿智村 奈川村 穂高町 松本市 小布施町 大鹿村・・・何も無い地域に多くの知恵と心があること。自然も心も豊か。 飯山市：農作業体験・郷土料理作り体験・そばうち体験 豊田村：農作業ボランティア 長野県(自治体の取り組みが盛ん) 飯山市  |
| 静岡県  |   |
| 新潟県  | 黒川村 新潟県村上市：友人が稲作農家よく遊びに行っています。夏にはお祭りや海やひまわり畑を見たり、冬にはスキーや温泉等々いろいろと楽しませてもらっています。 六日町 安塚町 塩沢町  |

|      |  |
|------|--|
|      | 刈羽郡高柳町 中頸城郡板倉町 中頸城郡能生町 上越市   |
| 富山県  | 利賀村 朝日町：自然体験、史跡散策、郷土料理賞味（外来者に親切）   |
| 石川県  | 輪島市での定置網体験   |
| 福井県  | 池田町 小浜市 池田町のファームハウスコムニタ、ごろごろしてる人が多い。大自然にふれあえるのがい   |
| 岐阜県  | 加茂郡白川町：近くにある田舎。ごく普通の田舎ですが、週末田舎人やってます。 宮村   |
| 愛知県  | 子どもの保育園の遠足で愛知牧場（愛知県）に行った事があります。当時が子どもが1歳だったので、見学だけでしたが、その子も今は5歳になり（下は3歳、1歳ですが...）酪農体験などに行けると良いなと考えています。1年程前に行った、白樺湖の近くのホープロッジでは、乗馬体験ができ、子ども達も大喜びでした。 |
| 三重県  | 大内山村：心が癒される大自然、人情溢れる村民の皆様方、初めての乳搾り、毎日が感動の連続だった。  |
| 滋賀県  |  |
| 京都府  | 綾部市於与岐町弥仙山に登り、下山後、ふもとの下村集落により、地元の人と話をしたり、農産物を買ったりして農村での時間を過ごしている。ただし、今のところ日帰り。田園風景に心が癒され、新鮮な野菜が買え、田舎の人のふれあいもおもしろい。                                   |
| 大阪府  | 泉州の紀泉わいわい村でのむかしの暮らし体験で子供と一緒にへっついでご飯を炊き、五右衛門風呂に入ったこと<br>池田市細河地域（東山町界限）・北摂山麓の里山  |
| 兵庫県  | 淡路島三原酪農業組合 淡路島 五色浜でのそば打ち 南淡町での牧場体験   |
| 奈良県  |  |
| 和歌山県 |  |
| 鳥取県  |  |
| 島根県  | 島根県、郷土料理、故郷である。 横田町：自然体験、伝統文化鑑賞、史跡散策、郷土料理賞味（人情細やか）<br>邑智郡桜江町の風の国 飯石郡頓原町：自然多し。  |
| 岡山県  | 美星町 岡山県が整備している「農村型リゾート」シリーズをよく利用します。場所によって管理方法や体験メニューへの意気込みに大きな差があるものの、よい施設整備方法だとも思います。 牛窓町  |
| 広島県  | 10年も前に、芸北町で体験させて頂いた神楽舞と太いシャラの杵で臼の中の餅米を3人で突つつくようにつく餅つきは最高に面白かった。  |
| 山口県  | 萩市 防府市・ふるさと牧場 阿武郡阿武町：交流ステーションを中心に様々な体験があります。   |
| 徳島県  | 由岐町伊座利地区：自然体験、郷土料理賞味（開放的）  |
| 香川県  |  |
| 愛媛県  |  |
| 高知県  | 馬路村：馬路村内の散策等   |
| 福岡県  | 浮羽町（国武庵での宿泊、こんにやくづくり、工芸）   |
| 佐賀県  |  |
| 長崎県  |  |
| 熊本県  | 天草：海とキリシタンの町として売り出し、頑張っているイメージ。ダイビングなどを行っている。印象に残っている。 天草町：農家民泊、定置網見学など人があたたかい。  |
| 大分県  | 安心院町（大学の先生の研究対象地域であり、民泊農家側の変にお客様扱いしないもてなしと、グリーンツーリズムを押し付けない＝何をやってもいいという方針に感動。） 行ったことはないのですが、大分県安心院町は有名だと思います。早くから「グリーンツーリズム」に取り組んでいる地域だと聞いていますが...   |

|      |  |
|------|--|
| 宮崎県  | <p>えびの市・・・山菜の天ぷらがうまいですよ!!!5月が最高!!!</p> <p>西米良村ワーキングホリデー制度にて農作業体験などをさせていただきました。豊かな自然と人々の温かさに魅せられました。昨年の3月に初めて訪れて以来、現在までに3回ワーキングホリデーに参加させていただいています。私は関東に住んでいるのでなかなか行くことができないのですが、ワーキングホリデー以外にも村の花火大会や神楽などを見に行ってしまうほど西米良村が大好きです。農作業などでお世話になった方だけでなく、ホリデー中に出会った方々とも仲良くしていただき、遊びに行くのはもちろんワーキングホリデーにもまた参加したいと考えています。</p> <p>綾町 日南市</p> |
| 鹿児島県 | <p>沖永良部島</p>   |
| 沖縄県  | <p>竹富町西表島 さとうきび収穫 大自然の中での厳しい労働で自然と共に生きていることを感じられたから</p> <p>八重山諸島 沖縄県北部 経験が無いのでグリーン・ツーリズムで良く行く地域は無いのですが、ここ沖縄だと、スローライフ、スローフード、沖縄移住計画、東村の長寿、健康食品などをよく耳にします。</p>   |
| 外国   | <p>NZ の牧場での乳搾り。ホームステイをしながら。高校の時ホームステイした家が牧場に引越したので遊びに行っ</p> <p>た。</p>  |
| その他  | <p>「九州」「秋田」が2名 東北・甲信越地方のイメージがあります グリーン・ツーリズムに行ったことはありませんが、山など豊かな自然のある所に行ってみたいです 長野：地元の人達とのふれあいが良かった 長野県・宮城県</p>  |

#### (4) 農山漁村へ行ったときに、主にどのようなことをしたいか(複数回答)

一般的に、都市生活者は、グリーン・ツーリズムというよりも田舎体験と言った方が馴染みやすい。

広義のグリーン・ツーリズムの中でも、どのようなことを実施したいのかを明らかにするために、農山漁村で行えることがらについて、希望するものを複数選んでもらうように尋ねたところ、上位ベスト5は次のようになった。

第一位は、「のんびりと自然散策、農村歩きをする」73.1%

第二位は、「鄙びた温泉、秘湯の露天風呂に浸かる」64.5%

第三位は、「採れたての野菜や地域の郷土食を食べさせる農家レストランで食事をする」63.9%

第四位は、「棚田、茅葺民家、蔵の町並み等の景観を楽しむ」52.9%

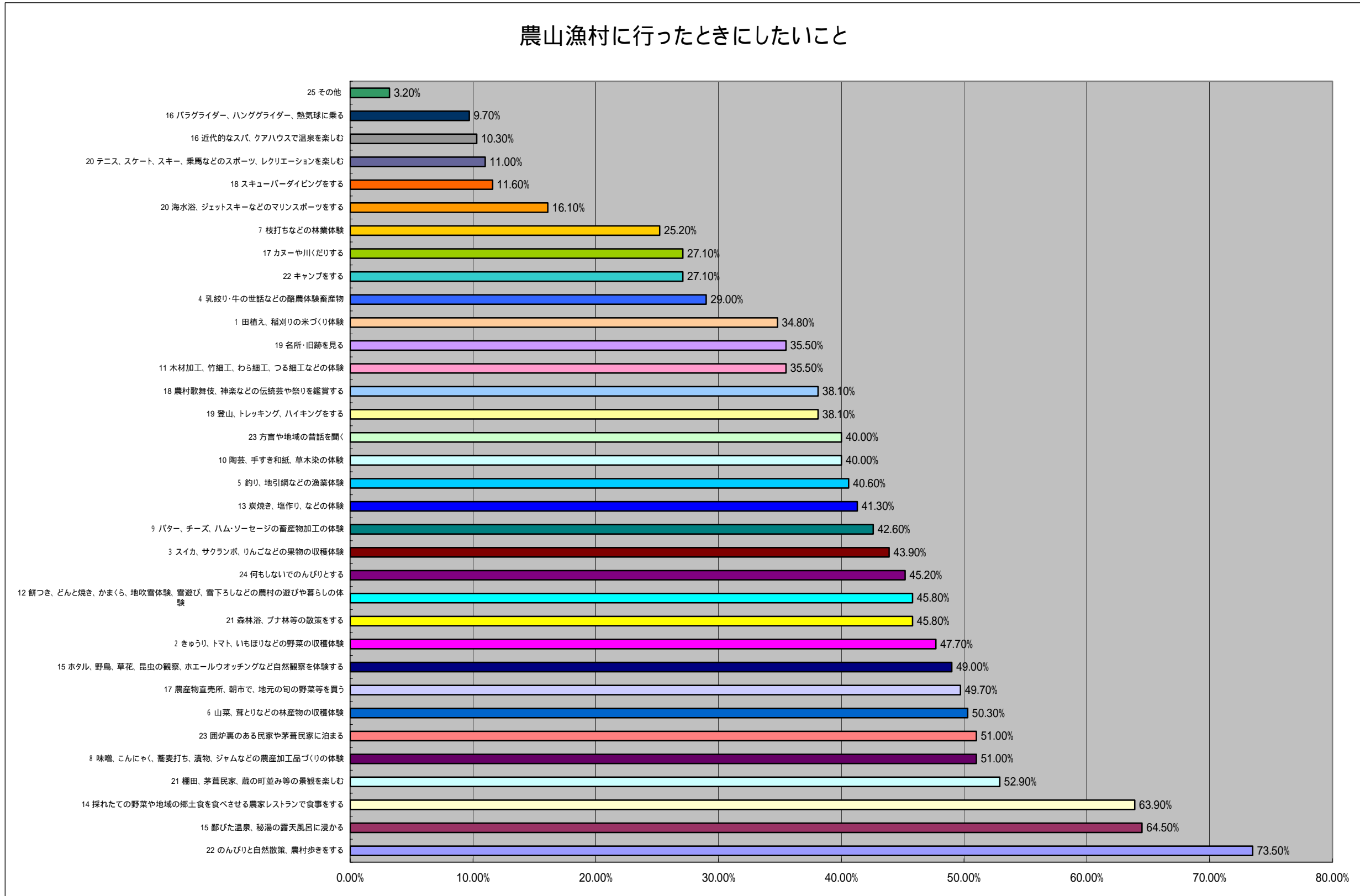
第五位は、「味噌、こんにゃく、蕎麦打ち、漬物、ジャムなどの農産加工品づくりの体験」51.0%、

同率で「囲炉裏のある民家や茅葺民家に泊まる」51.0%であった。

グリーン・ツーリズムがこれまでの一般観光と大きく異なるものである証明として、第一位の「のんびりと自然散策、農村歩きをする」に73.1%の支持があったことに注目したい。スローライフといわれるように、のんびりと自由気ままに美しい農村を散策するということが、都市生活者の願望が現れていると思われる。

グリーン・ツーリズムが幅広い年齢層、多様なニーズを持つ都市生活者に受け入れられるために大事なキーワードは、「のんびりと(時間を気にすることなく)・(移り行く)自然や農村(景観の中)に身を委ねることではないだろうか。」

### 農山漁村に行ったときにしたいこと



| 順位 | 回答項目  | 件数  | %     |
|----|---|-----|-------|
| 1  | 22 のんびりと自然散策、農村歩きをする                            | 114 | 73.5% |
| 2  | 15 鄙びた温泉、秘湯の露天風呂に浸かる                            | 100 | 64.5% |
| 3  | 14 採れたての野菜や地域の郷土食を食べさせる農家レストランで食事をする            | 99  | 63.9% |
| 4  | 21 棚田、茅葺民家、蔵の町並み等の景観を楽しむ                        | 82  | 52.9% |
| 5  | 8 味噌、こんにゃく、蕎麦打ち、漬物、ジャムなどの農産加工品づくりの体験            | 79  | 51.0% |
| 6  | 23 囲炉裏のある民家や茅葺民家に泊まる                            | 79  | 51.0% |
| 7  | 6 山菜、茸とりなどの林産物の収穫体験                             | 78  | 50.3% |
| 8  | 17 農産物直売所、朝市で、地元の旬の野菜等を買う                       | 77  | 49.7% |
| 9  | 15 ホタル、野鳥、草花、昆虫の観察、ホエールウォッチングなど自然観察を体験する        | 76  | 49.0% |
| 10 | 2 きゅうり、トマト、いも掘りなどの野菜の収穫体験                       | 74  | 47.7% |
| 11 | 21 森林浴、ブナ林等の散策をする                               | 71  | 45.8% |
| 12 | 12 餅つき、どんと焼き、かまくら、地吹雪体験、雪遊び、雪下ろしなどの農村の遊びや暮らしの体験 | 71  | 45.8% |
| 13 | 24 何もしないでのんびりとする                                | 70  | 45.2% |
| 14 | 3 スイカ、サクランボ、りんごなどの果物の収穫体験                       | 68  | 43.9% |
| 15 | 9 バター、チーズ、ハム・ソーセージの畜産物加工の体験                     | 66  | 42.6% |
| 16 | 13 炭焼き、塩作り、などの体験                                | 64  | 41.3% |
| 17 | 5 釣り、地引網などの漁業体験                                 | 63  | 40.6% |
| 18 | 10 陶芸、手すき和紙、草木染の体験                              | 62  | 40.0% |
| 19 | 23 方言や地域の昔話を聞く                                  | 62  | 40.0% |
| 20 | 19 登山、トレッキング、ハイキングをする                           | 59  | 38.1% |
| 21 | 18 農村歌舞伎、神楽などの伝統芸や祭りを鑑賞する                       | 59  | 38.1% |
| 22 | 11 木材加工、竹細工、わら細工、つる細工などの体験                      | 55  | 35.5% |
| 23 | 19 名所・旧跡を見る                                     | 55  | 35.5% |
| 24 | 1 田植え、稲刈りの米づくり体験                                | 54  | 34.8% |
| 25 | 4 乳絞り・牛の世話などの酪農体験畜産物                            | 45  | 29.0% |
| 26 | 22 キャンプをする                                      | 42  | 27.1% |
| 27 | 17 カヌーや川くだりする                                   | 42  | 27.1% |
| 28 | 7 枝打ちなどの林業体験                                    | 39  | 25.2% |
| 29 | 20 海水浴、ジェットスキーなどのマリンスポーツをする                     | 25  | 16.1% |
| 30 | 18 スキューバダイビングをする                                | 18  | 11.6% |
| 31 | 20 テニス、スケート、スキー、乗馬などのスポーツ、レクリエーションを楽しむ          | 17  | 11.0% |
| 32 | 16 近代的なスパ、クアハウスで温泉を楽しむ                          | 16  | 10.3% |
| 33 | 16 パラグライダー、ハンググライダー、熱気球に乗る                      | 15  | 9.7%  |
| 34 | 25 その他  | 5   | 3.2%  |

### 「その他」、どのような体験をしてみたいか

温泉療法、タラソテラピー

景観を楽しむ

いろいろなことを探検できるツアー企画で参加したい

自分で料理を作り、地域の方々と懇談したり、色々な地方談を聞く。

他人の監視を伴う行為は一切したくない。全てのあこぎな施設（商業施設）を廃止して、余計な手の入らない状態に戻さない。制限や条件を全てなくせば、自然に自然に対して人の手が入り、結果として守られることになる。ステップ1：団体の受け入れ、行動を一時的に規制する。ステップ2：水場やし尿施設を含む「外部利用者」向けの設備を一切撤去する。\* 上記にはあらゆるキャンプ場の解体（国立・国定公園等を除く）、観光施設と称される自然破壊設備の全ての完全撤去が含まれるステップ3：管理範囲における、自然の脅威に対するハザードマップの作製と配布

地元の通常の生活。通常の生活の中で時々ある祭事や地元行事等の参加、お手伝い等を含めた時間を過ごしてみたい 2 週間～1 年という単位での山村留学の大人版のようなもの  
 旅館や、新めの公営浴場のような普通の温泉に入りたい。鄙びても無く、近代的なスパ、クアハウスでもなく、石または檜などで造ってある浴槽で、内風呂と露天風呂があるような。

( 5 ) 行ってみたい、あるいは興味のある農山漁村の具体的な地名

行ってみたい、あるいは興味のある農山漁村として、80 地域がリストアップされた。ブロック別内訳では「北海道・東北」は 20 地区、「関東」は 12 地区、「北陸・東海」は 13 地区、「近畿」4 地区、「中国・四国」は 12 地区、「九州・沖縄」は 19 地区だった。

| 都道府県 | 行ってみたい、興味のある農山漁村の地名   |
|------|---|
| 北海道  | 礼文島 オホーツク海沿岸 標茶町 日高(何もしないでポーとしていきたいです) 北海道の広大な場所<br>北海道全域 斉藤牧場(旭川)  |
| 青森県  | 白神山地 大畑町  |
| 岩手県  | 岩手県 遠野市 具体的な地名は分からないのですが、岩手に行ってゆっくりしたいと思います。 岩手県・北上山地   |
| 宮城県  | 宮城・鳴子町(温泉地で湯治体験)  |
| 秋田県  | 白神山地 大内町 和賀山塊・鳥海山麓・白神山地・男鹿半島  |
| 山形県  | 山形県   |
| 福島県  | 只見(どんなことが出来るかわからないけれど) 山都町  |
| 茨城県  | 八郷(日本の食べ物のルーツ)  |
| 栃木県  | 粟野町   |
| 群馬県  |   |
| 埼玉県  |   |
| 千葉県  | 鴨川(日本の食べ物のルーツ)  |
| 東京都  | 伊豆七島  |
| 神奈川県 |   |
| 山梨県  |   |
| 長野県  | 信州 飯田 安曇野 栄村(田舎に行きたい) 小布施 長野県(メニューが豊富で本格的だから)<br>長野県(飯田市などで行われている事は日本の中でも先進的と言えるので興味があります) 飯山市(ここも有名だと聞いています) |
| 静岡県  | 焼津市   |
| 新潟県  | 新潟県 佐渡 冬の十日町 西頸城郡能生町  |
| 富山県  | 富山県   |
| 石川県  | 石川県   |
| 福井県  |   |
| 岐阜県  | 白河郷 飛騨・高山地方 飛騨・白川 古川町(飛騨市)  |
| 愛知県  | 足助町   |
| 三重県  | 阿山町 紀和町(棚田景観)   |

|      |  |
|------|--|
| 滋賀県  |  |
| 京都府  | 美山町  |
| 大阪府  |  |
| 兵庫県  | 篠山市  |
| 奈良県  |  |
| 和歌山県 | 本宮町 和歌山  |
| 鳥取県  |  |
| 島根県  | 隠岐島 島根県のたたらのある町(村?) 頓原町 三瓶周辺 柿木村   |
| 岡山県  | 牛窓町 高梁市  |
| 広島県  |  |
| 山口県  | 山口県内及び宇部市内で。   |
| 徳島県  | 上勝町 祖谷地方   |
| 香川県  |  |
| 愛媛県  | 大洲市・内子町  |
| 高知県  | 四万十川流域   |
| 福岡県  | 岡垣町  |
| 佐賀県  |  |
| 長崎県  | 壱岐・対馬  |
| 熊本県  |  |
| 大分県  | 湯布院町 大分県田染荘 竹田市 大山町 大分県安心院町(先進地だとは聞いていますが、まだ行った<br>ことがありません)   |
| 宮崎県  | 高千穂村・高千穂峡 日南海岸 椎葉村 西米良地区   |
| 鹿児島県 | 奄美諸島 大東島 奄美大島 屋久島 宮古島  |
| 沖縄県  | 東村 波照間島 沖縄   |
| 外国   | 日本国内ではない。強いて言えば、外国になるがドイツのミュンヘン郊外の村 ドイツ、スイスの農家。日本が<br>沢山バナナを買っているバナナ農園。貴州省   |
| その他  | 島の暮らし 手軽にいける関西圏内が便利。京都・兵庫の北部、滋賀県。福井県、鳥取県もいい。他地域も興味<br>はあるが、リピートしたいので、やはり関西近辺になる。いい山のあるふもとの集落がいい 海の方に興味があり<br>ます 岩手県や秋田などの北東北地方へ できれば海の近い場所で暮らしてみたい 私が今、住んでいる町で<br>す。文化的な面、教育問題など、住んでみるといろいろ大変だと思いますが……。ハウス栽培が盛んなので、ピ<br>ーマンや胡瓜が地域のブランドになっています 関東周辺で山菜狩り・きのこ狩りのイベントを企画している所<br>瀬戸内海 自然に囲まれ、特に清流があるところがよい 東北の散居集落 小国町 「離島」 北海道・<br>沖縄方面(内地とは違う体験ができそう) 大分県安心院町の農家民泊場所はとくにないのですが地吹雪体験ブル<br>ーツーリズムにも興味があります 東北 北海道や信州というイメージがあります。 |

(6) いずれは農山漁村(田舎)で暮らしてみたいと思うか

いずれは田舎暮らしをしてみたいかと尋ねたところ63.2%のがしたいと思うを選択した。

平成13年度に実施した「都市生活者が考える農山漁村に対する交流意向、アイデア」の調査では、農山漁村との交流で「農山  
 まちむら交流きこう：12

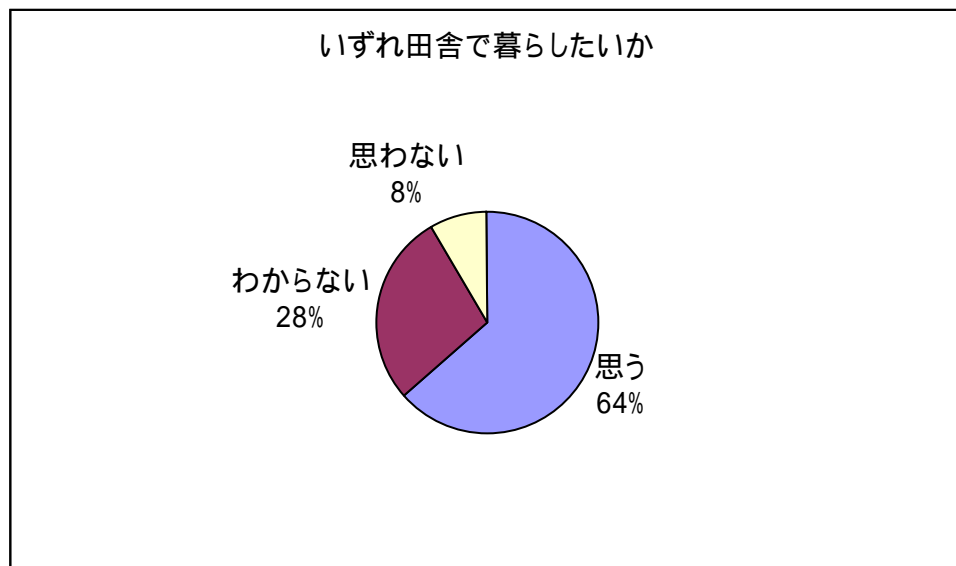
漁村体験の旅行訪問(23.1%)」「田舎暮らしの実践(31.3%)」「地域製品の入手(43.9%)」3つの中から最も関心を寄せているものを選択してもらったが、田舎暮らしが31.3%(男性:34.7%、女性:28.1%)であった。

また、平成 11 年度インターネット・ニーズ調査(テーマ:「田舎暮らしについて」)では、田舎暮らしへの興味を持つ人は、「実際に田舎暮らしを経験中9%、過去に経験した8%、具体的に検討中2%、かなり興味がある21%、やや興味がある32%」の合計72%であった。今回の調査では、田舎暮らしをメインテーマにしなかったものの、64.1%の回答者がいずれ農山漁村で暮らしてみたいと回答している。

グリーン・ツーリズムに関心を寄せる人は、田舎暮らしにも興味を持っているのか。それとも田舎暮らしに興味をもっている人は、グリーン・ツーリズムに対しても積極的なのはわからないが、いずれにしても「田舎暮らし」「グリーン・ツーリズム」の両者に相関関係があるように思える。

例えば、田舎暮らしの「初級」「中級」「上級」は

グリーン・ツーリズム デュアルライフ 定住(「田舎暮らし」) という関係があるのではないかと思う。



いずれ田舎暮らしをしたいか

| 順位 | 回答項目  | 件数 | %     |
|----|-------|----|-------|
| 1  | 思う    | 98 | 63.2% |
| 2  | わからない | 44 | 28.4% |
| 3  | 思わない  | 13 | 8.4%  |

### (7) 農山漁村での休日の過ごし方について、自由に記入

農山村に住む人自身が自信をもって、その暮らしぶりを自慢できるような……。

農業の達人(面白く、わかりやすく農業を語ってくれるプロ農家)の人材情報

ありのままの田舎暮らしを体験したい反面、最低限の文化的施設やサービス(衛生面など)はあるほうがいいような気がする。海外旅行でアジアなどの奥地に行くほどの覚悟は、国内ではもてないので…。中途半端ですみません。お料理の味は、その地方地方で仕方がないとはいえ、塩分量など、少し都会からの人の好みも考慮していただけたらうれしいです。

絵を描き、詩を読み、本を読む、ゆっくりコーヒータイム、ご近所と何気ない会話など。季節感を何気なく味わう。

登山との組み合わせで、いろいろと試行錯誤をしています。任意団体で半年やって来て、レポートするにはどうしたらいいか、そこが問題です。持続的な農山村との交流が目標です。

子供に普段とは違った体験をさせたいと思ってます。

今の日本人は、やや異常なほど清潔には気を使いますが、食の安全にはまったくといっていいほど無頓着で、残留農薬が問題となっている外国産の農産物も、あまり気にせず食べています。かつてはなかったアレルギー症状などが、多く見られるようになってきている現状を考えると、こういった食生活の影響を疑わざるを得ません。日本の農林水産業をきちんと支えていくことが重要だということを、体験を通じてもっと広めていくべきだと思っています。

スローライフ

時間に追われて物事をせず、ゆったりとした気分で新しい体験をしたい。

ホームステイがもっと身近になるといいと思う。数日間の観光や滞在では分からないことが多い。地元の人と交流できるようなしくみを普及させると良いとおもう。

高齢化・少子化の世の中ですが、それぞれがお互いを思いやって暮らすことは都会の多忙な毎日の中では大変困難だと思います。時には農産漁村でみんなでゆっくり、食べたり遊んだり散策したり日頃経験できないことをして過ごしたいと思います。現地の方々との交流や遊びがあると面白いと思う。

あれもこれもより、ただ景観を眺めてゆっくりしたいです。

週末の住みかにかしたい

いろいろな体験や観光等あるとは思いますが、どんなことを体験してみても何よりも”人與人”との交流に暖かさを感じるのではないかと私は思うので、そういう面に重点を置くと参加者も迎える側もどちらもいいものを得られると思います。

お客さんとしてではなく、出来るだけ地域に溶け込みたい

暮らししてみたいと思わないけれど、四季折々2,3日ぐらい行きたいと思う。茅葺きの一軒家に家族で何日か貸切り、自炊生活をし、近くの畑で野菜など収穫体験したり、温泉に入りたい。

地元の方に迷惑を掛けない程度の自由さ

実際に土いじりが体験出来る野菜や米の栽培を行なう。

その日暮らし、自給自足

周りの目、県外者に対する受け入れ姿勢(陰湿な雰囲気等)が未整備

全国均一のサービスでなく、特徴があり、柔軟に対応してもらえる「こころの通う」サービスを期待しています。

地元の人達との交流自然資源や文化遺産などを鑑賞する、エコ・カルチャー・ツーリズム

雨の時は、どのようなことをやるのでしょうか？

地方に住む場合はやはり近所付き合いが重要になってくると思いますが、(特に自分だけでなく妻、子供達)育った文化が違う場合かなり戸惑う事もあると思います。体験談や、実際、地元の方の話が聞ける場があると良いと思う。

地元の方との時間を大切にしたい。

現在も、中山間地に住んでおり、日々の自然の美しさに深く感動しています。

定年退職したら、自家菜園で有機野菜を作りながら、田舎暮らしをしたい。

のんびりと温泉に浸かり、ゆったりとした一日を過ごしたい。

農村での休日の過ごし方として、農家で普段の農作業を一緒に行うことや、会話を楽しむこと。また、その地域の伝統的な文化に触れることが大切ではないか。

ボケーと一日過ごすのもいいし、山を歩いてもいい。そんな暮らしがしたい。

その土地で生活するのか、ただ帰省するのかによって違うと思う

乳幼児がいても気軽に遊びに行けるような環境が整っていると嬉しいです。

できるだけ農家に宿泊し、夕食を頂きながらお話を伺っています。グリーン・ツーリズムも「人間観光」だと思っています。

是非、議論を戦わしたい

確かに一定の地域では徐々に自然体験を盛り込んだ企画をいろいろ出しているが、日本のこのような取り組みは本当にグリーン・ツーリズムといえるのか？農村の受け入れ側も我々都市住民ももっとグリーン・ツーリズムが本来どのようなもので単に自然を満喫しにいくだけではないことを認識すべきではないかとおもいます。

なるべく、街中に出たくなりますね。

誰も知り合いがいな場所に行くのは勇気がいるという人も多いと思います。でも、お客さんのままでは本当にそこで生活した気はしないでしょう。農山漁村に住む人の意識次第な面もあると思います。

自給自足生活、ふれあい空間の創出(季節体験)過疎化対策

生活するというを身近に感じれるような、少し厳しい体験もしてみたい。

写真やテレビなどで見るだけで実際に行ったわけではないが、日本もヨーロッパのように、もっと完成度の高いGTの提供ができるようになると、旅のスタイルがさらに充実して楽しくなると思う。「温泉に行く」「観光地を巡る」のほかに「農山漁村に遊びに行く」という選択肢もしっかり確立されると思う。

ゆっくりながれる時間のなかで過ごすのもよい。

当地の見所見学や郷土料理を食べたい。

生活者の視点からの道先案内、解説(ガイド)が欲しい。

過剰なサービスはお客ももてなす方も疲れますお客がこまった時に手を出せるような疑似家族体験もしてみたい

陶芸や絵を描きながら過ごしたい。

いざ行こうとなると、たくさんあるので選べません。どこも似たような感じで、特に同じ地域だと違いが無さそう。隣接する4つの町と村、内容はほとんど同じだけどどこにしようか となり決められません。私は地域より先に体験内容で選ぶとするためか、例えば米作り体験にしても、全国でたくさんやっているところがあるので、どう選んでよいのかわかりません。私には普通の旅行の旅館やホテル選びより難しいです。各村や県ごとのパンフレットやサイトなどはたくさんありすぎて見きれません。全国規模で、もっと詳しく分類分け、比較をしたり、写真などの多い資料や、検索できるサイトがあればと思います。結局選ぶのが面倒になり、まだ一度も行っていません。季節によってできる内容も違うので、そこからも検索できると良いですね。5月 カヌーとか。9月 稲刈りとか。そうすると地域が限定できそう。

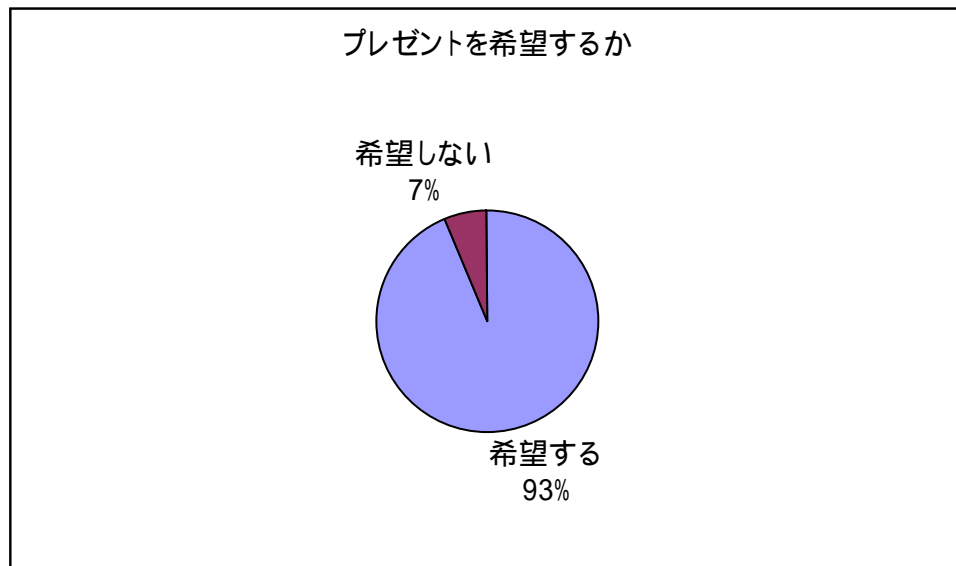
豊かな自然に囲まれて、瞑想にふけりたい。

現在、高知県東部地域における観光の取り組みについて研究しています。グリーン・ツーリズムやエコツーリズムの立場から見て、高知県東部地域はどのように映っているのか(資源として活用できるのかどうか)知りたいです。高知県東部地域は、自然資源や素材は多くあると思うのですが、受け入れ体制がまだまだ不十分だと思います。グリーン・ツーリズムの先進地で

は、どうやって地域住民が一つの思いにまとまり、受け入れられるまでにいったのか、その地域では受け入れ体制をどのようにしているのか。問題点などもあるのか、ぜひ知りたいです。

( 8 ) 回答者への抽選プレゼント「ふるさと体験ルート・ガイド(本)」を希望するか

アンケートの回答者には、抽選で 100 名に「ふるさと体験ルート・ガイド」をプレゼントするとしたところ、プレゼントへの応募は、93.5%であった。  
 平成 14 年度ニーズ調査においては、ふるさと産品(抽選で 10 名)の希望は、87.5%であった。  
 プレゼント数の多さが応募数を押し上げたと考えられるが、14 年度の回答者数が 120 件であることから、本年の「ふるさと体験ルート・ガイド」のプレゼントの効果によって、回答者数の増加に一応の効果を発揮したと考えられる。



本の希望の有無

| 順位 | 回答項目  | 件数  | %     |
|----|-------|-----|-------|
| 1  | 希望する  | 145 | 93.5% |
| 2  | 希望しない | 10  | 6.5%  |

参考

「アンケート調査表」

農山漁村への旅行や農村生活の体験に関するアンケート

農山漁村は、田畑や里山など美しくかつのどかな風景や地域に根ざした多様な文化があります。このような日本の農村景観のなかで、おいしいものを食べたり、農林漁業の体験したり、自然豊かな農村でのんびりと時間を過ごす、ライフスタイルに関心もたれています。スローフード、スローライフなど、田舎での休日の過ごし方を推進するために、皆様のご意見をお聞かせください。ご回答いただいた方の中から抽選で 100 名様に「ふるさと体験・ルートガイド」(1,500 円)を差し上げます。当選者の発表は、本ガイドの発送をもってかえさせていただきます。

■ 回答の方法

- 選択式の質問については、該当する項目の「」や「」をクリックして選択して下さい。
- 記入式の質問については、記入エリア「ここに記入し」に、ご自分の回答を入力して下さい。赤字で質問している項

目は必須回答項目です。必ずご回答ください。

## ■ 修正の方法

- 回答の所が「」ボタンの場合（答えが1つの質問です）正しい回答のボタンをクリックすれば、修正は完了です（前の回答は自動的に消えます）。
- 回答の所が「」ボタンの場合（答えが複数の質問です）変更したい回答のボタンをクリックして消し、正しい回答をクリックし直します。

Q.1 最初にご自身のことについてお教えてください。

性別を教えてください(必須項目)

1 男

2 女

Q.2 年齢はおいくつですか（必須項目）

1 10代

2 20代

3 30代

4 40代

5 50代

6 60代

7 70代以上

Q.3 「グリーン・ツーリズム」という言葉を知っていますか、また、体験したことはありますか（必須項目）

1 知っている、体験したこともある

2 知っているが、体験したことはない

3 知らない、体験もしたこともない

4 わからない

Q.4 「グリーン・ツーリズム」を知っている（体験）したことがある方に伺います。あなたが思うグリーン・ツーリズムのイメージは次のどれですか（いくつでも選んでください）

1 田舎暮らし

2 山や海などの自然体験

3 伝統文化や史跡にふれる

4 農作業・林業体験

5 果物や野菜、山菜等の収穫体験

6 乳搾り体験

7 市民農園

8 そば打ち体験

9 郷土料理にふれる体験

10 その他

「その他」をお選びの方は、具体的に記入してください

Q.5 Q.3で「グリーン・ツーリズム」という言葉を知らないと答えた方に伺います。

Q.4にあるようなグリーン・ツーリズムの体験をしてみたいと思いますか

1 思う

2 思わない

3 どちらともいえない

Q.6 グリーン・ツーリズムで良く行く地域、または記憶に残る地域はありましたか(県名市町村名、地域名、体験内容、理由等を記入ください)

Q.7 農山漁村へ行ったときに、主にどのようなことをしたいですか(いくつでも選んでください必須項目)

1 田植え、稲刈りの米づくり体験

2 きゅうり、トマト、いもほりなどの野菜の収穫体験

3 スイカ、サクランボ、りんごなどの果物の収穫体験

4 乳絞り・牛の世話などの酪農体験畜産物

5 釣り、地引網などの漁業体験

6 山菜、茸とりなどの林産物の収穫体験

7 枝打ちなどの林業体験

8 味噌、こんにゃく、蕎麦打ち、漬物、ジャムなどの農産加工品づくりの体験

9 バター、チーズ、ハム・ソーセージの畜産物加工の体験

10 陶芸、手すき和紙、草木染の体験

- 11 木材加工、竹細工、わら細工、つる細工などの体験
- 12 餅つき、どんと焼き、かまくら、地吹雪体験、雪遊び、雪下ろしなどの農村の遊びや暮らしの体験
- 13 炭焼き、塩作り、などの体験
- 14 採れたての野菜や地域の郷土食を食べさせる農家レストランで食事をする
- 15 鄙びた温泉、秘湯の露天風呂に浸かる
- 16 近代的なスパ、クアハウスで温泉を楽しむ
- 17 農産物直売所、朝市で、地元の旬の野菜等を買う
- 18 農村歌舞伎、神楽などの伝統芸や祭りを鑑賞する
- 19 名所・旧跡を見る
- 20 テニス、スケート、スキー、乗馬などのスポーツ、レクリエーションを楽しむ
- 21 棚田、茅葺民家、蔵の町並み等の景観を楽しむ
- 22 のんびりと自然散策、農村歩きをする
- 23 方言や地域の昔話を聞く
- 15 ホタル、野鳥、草花、昆虫の観察、ホエールウォッチングなど自然観察を体験する
- 16 パラグライダー、ハンググライダー、熱気球に乗る
- 17 カヌーや川くだりする
- 18 スキューバダイビングをする
- 19 登山、トレッキング、ハイキングをする
- 20 海水浴、ジェットスキーなどのマリンスポーツをする
- 21 森林浴、ブナ林等の散策をする
- 22 キャンプをする
- 23 囲炉裏のある民家や茅葺民家に泊まる
- 24 何もしないでのんびりとする
- 25 その他

「その他」をお選びの方は、どのような体験を『してみたいか』お聞かせください

Q.8 行ってみたい、あるいは興味のある農山漁村はありますかある場合は、具体的な地名を記入してください

Q. 9 いづれは農山漁村（田舎）で暮らしてみたいと思いますか（必須項目）

- 1 思う
- 2 わからない
- 3 思わない

Q. 10 農山漁村での休日の過ごし方について、  
その他お気付きの点がございましたらご自由にお書きください

Q. 11 アンケートにお答えいただいた方の中から、抽選で 100 名様にふるさと体験ルート・ガイドをプレゼントします。  
ご希望されますか（必須項目）

- 1 希望する
- 2 希望しない

Q. 12 最後にプレゼントご希望の方はご連絡先をご記入ください

氏名

Q. 13 郵便番号

Q. 14 住所（都道府県から記入ください）

Q. 15 e-mail アドレス

以上で質問は終わりです。

修正する場合は、修正箇所まで画面をスクロールします。

- 回答の所が「」ボタンの場合（答えが 1 つの質問です）正しい回答のボタンをクリックすれば、修正は完了です（前の回答は自動的に消えます）
- 回答の所が「」ボタンの場合（答えが複数の質問です）変更したい回答のボタンをクリックして消し、正しい回答をクリックし直します。

- 全ての回答をやり直したい場合は、「記入内容を全部書き直す」のボタンをクリックして下さい。全回答が白紙に戻ります。
- 修正はなく、あるいは修正が終わりましたら、「回答内容を送る」のボタンをクリックして下さい。  
「回答内容を送る」ボタンを 1 度クリックすれば送信は完了します。
- 皆様の回答はシステム側に送られ、「ありがとうございました」の表示が出てアンケート調査は終了します。インターネットはここで切断して下さい。